# UPKI電子証明書発行サービス　平成27年度　年度末調査

【機関に関する情報】

## １．貴機関の名称，本調査票に関するお問い合わせ先を記入してください。

機関名　　　　　　　　　

担当者名　　　　　　　　

メールアドレス　　　　　

　　　　登録ドメイン名　　　　　

【確認実施手順に関する調査】

以下の設問は、サービス利用申請時またはそれ以降（変更届提出時など）にご提出いただいた、**最新の「確認実施手順調査票」をお手元にご用意の上，ご回答ください。**

## ２．「確認実施手順調査票」の提出時と現在で、確認実施手順の変更の有無についてご回答ください。





【利用管理者の本人性確認】

## ３．「利用管理者の本人性確認」手順について、変更の有無についてご回答ください。





## ４．変更されている場合は，「どのような情報」をもとに，「どのような方法で」確認することにした のか，変更内容を記述してください。



## ５．変更された理由について教えてください。



【利用管理者の実在性確認】

## ６．「利用管理者の実在性確認」手順について，変更の有無についてご回答ください。





## ７．変更されている場合は，「どのような情報」をもとに，「どのような方法で」確認することにした のか，変更内容を記述してください。



## ８．変更された理由について教えてください。



【利用管理者が管理する電子証明書の管理責任確認】

## ９．「利用管理者が管理する電子証明書の管理責任確認」手順について，変更の有無についてご回答ください。





## １０．変更されている場合は，「どのような情報」をもとに，「どのような方法で」確認することにした のか，変更内容を記述してください。



## １１．変更された理由について教えてください。



【ドメインの実在性確認】

## １２．｢ドメイン（サーバのFQDN）の実在性確認｣手順について，変更の有無についてご回答ください。





## １３．変更されている場合は，｢どのような情報｣をもとに，「どのような方法で」確認することにした のか，変更内容を記述してください。



## １４．変更された理由について教えてください。



【サービスに関して】

## １５．本サービスの利用を決定した理由について，該当するものをチェックしてください。

　機関のサーバ証明書不足を解決したかったため

　電子証明書が安価で発行されるため

　（学内認証局や独自認証局など）プライベート証明書をパブリックな証明書に切り換え

たかったため

　（コスト以外の点について）商用認証局よりもNIIの認証局のほうが良いと思うため

　学認で利用するため

　クライアント証明書が取得できるため

　コード署名用証明書が取得できるため

　その他



## １６．本サービスを利用することで得られた効果があればご記入ください。



## １７．本サービスの証明書運用に関して，インシデントは発生しましたか？





## １８．インシデントが発生していた場合，その内容について教えてください。



## １９．どのような方法でその問題を解決されましたか，教えてください。（未解決の場合は未解決と 記入してください）



## ２０．UPKI電子証明書発行サービス以外の証明書発行サービス（民間企業による有償のサービスを含む） と比較して，良い点・悪い点がございましたら，記入してください。



## ２１．本サービス利用開始後の、機関内におけるサーバ証明書の使用数の増減をお答えください。









## 本サービスで発行された証明書の用途をお答えください。(複数回答可)

### ２２．サーバ証明書

　Webサーバ(学内外向けWebサイト，ポータルサイトなど)

　Webサービス(Shibboleth SP，事務用Webアプリケーション，  
研究室などで使用する各種システムなど)

　認証システム関連(Shibboleth IdPなど)

　メールサーバ(大学公式のもの，学部・学科・研究室単位のものなど)

　教員研究用(研究のために構築した各種サーバなど)

　学生研究用(卒業研究・修士および博士研究のために構築した各種サーバなど)

　その他（サーバ証明書の用途として）

### ２３．クライアント証明書

　クライアント認証（ブラウザを介しての認証）

　身分証などのICカードに格納して利用

　FeliCa搭載の身分証などと連携して利用

　S/MIME署名

　S/MIME暗号化

　文書への署名

　その他（クライアント証明書の用途として）

### ２４．コード署名用証明書

　プログラムやアプリケーション、スクリプトへの署名

　その他（コード署名用証明書の用途として）



## ２５．本サービスから発行される各証明書を利用することで、機関の構成員が情報通信全般の安全性に 対して留意する機会が増えたと思いますか。









## ２６．前項に質問において，どうしてそう答えたのか自由記述でお答えください。

　　　※特に，情報通信の安全性等について構成員に普及啓蒙活動などを行った場合は，  
その内容について記述していただければ幸いです。



## ２７．本サービスで提供してほしいと思うサービスがありましたら、下記から選択してください。

(複数回答可)

　タイムスタンプ

コード署名用証明書利用のため、タイムスタンプを提供

　S/MIME公開鍵リポジトリ

暗号化メール送信時に用いる、送信先の公開鍵を取得するためのリポジトリ

　電子証明書発行支援システムのAPI

電子証明書発行支援システムのWebUIを介さずに、証明書の発行・更新・失効申請や

一覧の取得などができるもの

　その他（具体的に記述してください）



【サービス利用期間更新の意思確認について】

## ２８．来年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日）も本サービスを継続してご利用いただけ

ますか。



→サービス窓口より、別途更新に関するお手続きをご案内します



→発行済みの全ての証明書を年度末に失効します。

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。